

# 入院診療計画書

病棟:

殿

診断名 ペースメーカー本体交換術 ver.1

年 月 日

特別な栄養管理の必要性: 有・無

主治医:

担当看護師:

患者様サイン欄:

ご家族サイン欄

経過	入院日または手術前日	手術当日(手術前)	手術終了後	1日目	2日目	退院日	退院後の注意
日付	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	
達成 目標	・手術の必要性・内容・合併症について理解できる。 ・不安なく手術が受けられる。	・創部の安静が保てる。 ・創部コントロールがされている。	・創部の発赤・腫脹・出血がない。 ・ペースメーカーが正常に作動している。			・日常生活の注意点が理解できる。 ・緊急時の対処方法が理解できる。	
安静 リハビリ 退院	病棟内を自由に歩くことができます。 明日の手術に備え十分な睡眠を取ってください。 尚、眠れない場合は看護師にお伝え下さい。	病棟内を自由に歩くことができます。				午前中に退院できます	・肩を回す運動は1ヶ月の間行わないで下さい。
食事	患者さんによって異なりますが、原則的には塩分制限の食事になっています。(通常塩分6g/日)この他疾患に応じた治療食になっています。	午前の手術・・・朝食をとらないでください。午後の手術・・・朝食は摂って良いです。昼食はとらないでください。	食事は帰宅1時間後に気分が悪くなければ食べることが出来ます。手術後2時間は、ベッドで安静にしてください。	特に制限はありません 			次回外来受信日の紙をお渡しします。ご確認ください。
注射 薬剤	持参薬を続けてください。 中止薬がある場合は、看護師から説明致します。	通常どおりに服用してください。 中止薬がある場合は、看護師から説明します。 手術する側の腕に点滴を開始します。 手術前に抗生物質の点滴をします。 透析を行っている患者さんは検査直前に点滴を開始します。	手術後、薬の内容が変更になる場合があります。 手術後に抗生物質の点滴をします。	中止薬を再開します。  抗生物質の内服を開始します。			・創部の消毒方法について説明いたします。 ・1週間後の外来診察時に創部を確認したのち、入浴できる様になります。 ・入浴時に傷をこすらないようにして下さい。 
検査	入院時、必要なら血液・尿検査・レントゲン・心電図・心エコーをとります。 心電図モニターをつけます 	手術は( : )頃からの予定です。手術は大体2時間位かかります。ご家族の方は30分前までにお願いします。	手術後に心電図をとります。心電図モニターをつけます。 	採血と心電図と胸のレントゲンをとります			
処置	検査をする部位の毛を剃ります。 検査着は病棟で準備します。 身長・体重・体温・脈拍・血圧を測ります。 	手術前に排尿し入れ歯・時計・指輪・ピアスヘアピン・眼鏡・コンタクトレンズなどはすべて外し検査着に着替えて手術室に行きます。 朝6時に体温・脈拍を測ります。手術前に血圧・脈拍を測ります。	帰室時に脈、血圧測定をし傷の状態の観察します。	圧迫ガーゼを取り除きます 朝6時・14時・20時に体温・脈拍・血圧を測ります。			
清潔 シャワー 入浴 など	シャワーが可能です。 手術部位のアルコール清拭を行います。			看護師が身体を拭くのをお手伝いします。 	看護師が身体を拭くのをお手伝いします。 下半身のシャワーが可能です。(創部に水がかからないようにして下さい)	看護師が身体を拭くのをお手伝いします。 下半身のシャワーが可能です。(創部に水がかからないようにして下さい)	
排泄	トイレに歩いて行く事ができます。 						
説明	入院前に説明がない場合、医師より手術の説明をいたします。ご家族の方と一緒に聞きますので印鑑をご用意ください。 看護師から入院生活及び検査について説明があります。	手術中、家族の方は病室または待合室でお待ち下さい。 現金・貴重品は家族の方に直接お預けいただくか、セーフティボックスをご利用ください。	手術後、医師から結果についての説明があります。 	パンフレットをお渡しします。	ペースメーカー、日常生活の注意点についてご説明します。 脈の測り方を説明致します。毎日、数を数えて見ましょう。		

注1)病名及び治療内容は、入院時に考えられるものですので、検査・治療を進めていくにしたが変更することがあります。

注2)入院期間、表記の日程については入院時での予定です。